

**栄養健康研究会**

**【栄養研究部会】**

<p>1, 2 月</p>	<p>2017 年度 第 1 回目の会議開催（1 月 25 日）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部会の活動方針について意見交換             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 9 回ライフサイエンスシンポジウムの 2018 年開催を目標に今後活動していくこととした。（理由：上記シンポジウムの第 8 回は 2014 年に開催されたが、その後開催されていないため）</li> </ul> </li> <li>2. 第 9 回ライフサイエンスシンポジウムに向けて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題目、テーマ等については、「案」を提案することとし、後日部会長が取り纏めることとした（2 月）。</li> <li>・ 「案」の取り纏めが終了したら、次回の部会で検討することとした。（なお、2019 年に開催が予定されている第 8 回「栄養とエイジング」国際会議も視野に入れるようにする。）</li> </ul> </li> <li>3. 勉強会開催に向けて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ選定のため、各自、学会等でアンテナを張り、情報収集に努めることとした。</li> </ul> </li> </ol>
<p>3, 4 月</p>	<p>2017 年度 第 2 回目の会議開催（4 月 19 日）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部会の活動方針について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020 年の東京オリンピック開催を視野に入れ、栄養研究部会は「運動と栄養」をキーワードとして、活動する。</li> <li>・ 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム』の開催は 2018 年 9 月を目標とする。</li> <li>・ 2019 年 9 月開催の第 8 回「栄養とエイジング」国際会議のテーマとして、「日本の食事」（健康な食事研究会）が予定されており、そこに「運動と栄養」（栄養研究部会）の成果（第 9 回ライフサイエンスシンポジウム）を取り入れる方向で考える。</li> </ul> </li> <li>2. 今後の方針について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動あるいは栄養の専門家（アカデミアの先生）にアドバイスをいただいた上で、シンポジウムのプログラム案を立案・作成していく。</li> </ul> </li> </ol>
<p>5, 6 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム（テーマ：栄養と運動）』の開催に向けて、プログラムの構成についてアカデミアの先生からアドバイスをいただくため、2017 年 6 月 9 日に国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 宮地元彦先生を訪問。</li> <li>2. 2017 年度 第 3 回目の会議開催（6 月 27 日）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮地先生の面談内容（アドバイス）の部内で共有化した。</li> <li>・ 宮地先生を栄養研究部会のアドバイザーとしてお招きすることに関して、部会で賛同が得られた。</li> <li>・ シンポジウムは半日ではなく 1 日とし、開催時期は日本体力医学会と重ならない 2018 年 9 月前後 2 か月とする。</li> </ul> </li> <li>3. 今後の方針について             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 月に再度宮地先生を訪問し、先生からアドバイスをいただきながら、シンポジウムのプログラムを立案・作成していく。</li> </ul> </li> </ol>
<p>7, 8 月</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム（テーマ：栄養と運動）』の開催に向けて、プログラムの構成についてアカデミアの先生からアドバイスをいただくため、2017 年</li> </ol>

	<p>7月21日に国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 宮地元彦先生を訪問。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「健康長寿の延伸につなげる栄養科学と運動科学の融合 — 基礎研究から応用研究まで —」となった。</li> <li>・シンポジウムは1日とし、2018年7月26日（木）7:30～18:30で東京大学弥生講堂 一条ホールを予約した。</li> <li>・8月9日に、宮地先生からご提案いただいた先生方に講演依頼状を送付した。</li> </ul> <p>2. 今後の方針について</p> <p>9月に再度宮地先生を訪問し、先生からアドバイスをいただきながら、シンポジウムのプログラムを立案・作成していく。</p>
9, 10 月	
11, 12 月	